

市政に  
全力投球!

市政ニュース2017年夏号

熊本市議会議員 上田よしひろ

うえだよしひろ

上田よしひろ事務所

〒862-0975

熊本市中央区新屋敷 3-7-5

TEL 096-335-8100

FAX 096-335-8101

e-mail ueda-minsyu@sea.plala.or.jp

— 6月議会 復興事業等へ約30億の増額補正を可決! —

これからは、復興へ資する事業の  
選択と優先性が問われます!



日頃より私の諸活動にご支援・ご協力を頂いておりますことに心より感謝申し上げます。

6月23日閉会した6月議会では、総額30億7千万円余の増額補正予算や条例8件を含む48件の案件等について議論しました。特に増額となった補正予算の主な内訳は、①熊本城災害復旧経費16億1千万円余、②白川公園内複合施設整備経費5億8千万円余、③被災者への経済的支援経費6千万円余、④復興基金を活用した被災者見守り対策経費6千万円など、その殆どが熊本地震に関連する復旧・復興予算でありました。

熊本城の復旧に向けては、20年で総額634億円の費用を要する大変息の長い事業となりますが、熊本地震からの復興のシンボルとして着実な復旧・復興が成し遂げられるよう議会でもしっかりと進捗状況等のチェックを行っていかねばならないと考えています。13の重要文化財・20の建造物に加え、10万個とも言われる石垣の修復など、気の遠くなるような再建となりますが、まずは3年後の天守閣再建を実現させなければなりません。



本格的な復旧工事が進む天守閣

また、白川公園内にあった中央公民館の解体後、中央公民館と中央老人福祉センターの両機能を融合した新複合施設の整備が始まりました。7階建ての中には、大ホール、複数の研修室、図書室、料理実習室、教養娯楽室に加え、トレーニング室、音楽室、コンビニなどが計画されており、平成31年8月完成を目指されています。早期完成が期待されていますが、懸念事項もあるようです。一つは、完成後の施設の運営・管理を指定

管理者制度という民間委託されることです。この指定管理者制度とは、公共サービスとして自治体が行うべき事業を「民間活力のノウハウ」



白川公園新複合施設建設用地

を有効活用するもので、熊本市では現在410施設(体育館等のスポーツ施設、老人福祉センター、国際交流会館等)が民間委託されており、各施設とも健全な管理・運営を目指されていますが、その殆どの委託期間が5年間であることや、事業者決定には入札が行われ受託金の低廉化が進んでいると考えています。その結果、受託事業者での人材育成や確保、更には受託金の低廉化によるしわ寄せが、そこで働く人たちの賃金にも影響を与えかねません。

指定管理者制度を否定するものではありませんが、申し上げた課題を的確に把握し、民間事業者の皆さんによる市民サービスの向上を目指さなければならないことから、議会の中でもしっかりとチェック機能を果たしていくべき課題と考えています。

6月議会では、この他「桜町・花畑地区オープンスペースのデザイン」、「市電延伸の検討状況」、「熊本西環状線(花園IC~下硯川IC)完成後の交通状況」などの報告もありました。一部裏面にて紹介いたしますが、熊本地震からの復旧・復興を最優先としつつも、多くの予算を要する事業が着実に計画立てられています。

復興に資する事業と市民サービス向上に資する事業などとの優先性について、市民の皆さんへお知らせしながら、議会の中で「市民が主役の政治の実現」に向け、これからも全力投球しています。今後とものご支援・ご協力をお願い申し上げます。



## 常任委員会報告〈都市整備委員会〉

私が副委員長を務めます「都市整備委員会」の中で以下の報告があり、現時点での熊本市の方針が示されました。いずれも市民生活に密着した大変注目されることから、熊本市では今後、市民アンケート等の意見集約を図ることとされています。

本紙面にて概略を紹介いたしますので、ご意見などを頂ければ幸いです。



### ◆進む桜町・花畑地区再開発事業 「シンボルプロムナードのデザインを公表」

平成31年完成をめざし工事が進む「桜町再開発」。大型商業施設、ホテル、マンション、バスターミナル、仮称熊本城ホールなどが中心市街地の新しい顔として、また熊本地震からの復興を経済や賑いという面で後押しする一大事業であります。

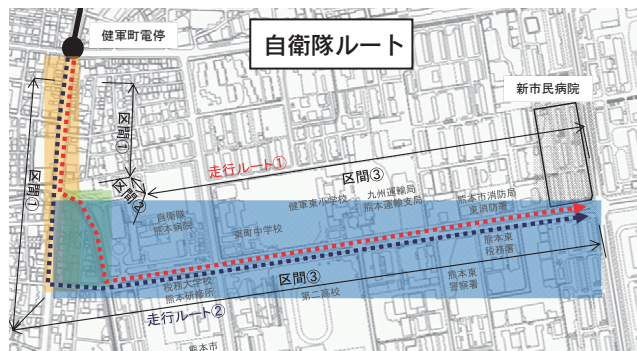
完成後、現在バスターミナルとして利用されている箇所を含め、「熊本城御幸橋～花畑公園～花畑広場～辛島公園」一体をオープンスペース化するもので、今議会でデザインが示されました。

熊本城から庭続きをコンセプトに、「風格の間(市民会館・NTT前)」、「みどりの間(花畑公園)」、「にぎわいの間(花畑広場)」、「くつろぎの間(辛島公園)」と位置づけ、整備される計画です。花畑広場には大屋根を設置、辛島公園は芝生化を図るなど、総額20億円をかける計画であります。



▲ オープンスペースデザインイメージ

### ◆市電延伸 「健軍電停～新熊本市民病院」案を優先検討



熊本市では、大西市長公約でもある「市電延伸の検討」が平成27年度から進められ、当初「3方向5ルート」(田崎ルート、産業道路ルート、南熊本駅ルート、自衛隊ルート、沼山津ルート)が候補に挙がり様々な比較検討が行われ、平成28年度の精査において、「自衛隊ルート」、「南熊本駅ルート」の2ルートに絞り込まれてきました。そのような中、今議会において「概算事業費・費用便益・収支見込・利用者見込」等により『市電延伸については、まずは自衛隊ルートを優先し検討を進める』との現況について報告がありました。「健軍電停から新熊本市民病院」までの約1,5KMの延伸を図るというものです。今後、市民や事業者の皆さんからの意見聴取を進めるとしてはいますが、私は現在の熊本市は復興事業に多額の費用を捻出すべき時であることや、市民全体の利便性向上に繋がるかなどの細部に亘る検証が必要であると考えます。皆さんからのご意見も頂ければと考えています。

## 共謀罪反対、慎重な憲法改正論議への意見書が不採択

議会では、市政や市民に関わる事項の他に、国や省庁への要望を取りまとめ意見書として提出するものも議案として取り扱っています。今議会では、私が所属する「市民連合」から『共謀罪反対』、『慎重な憲法改正論議』、『政治分野における男女協働参画』を趣旨とした意見書を提出し、全議員の賛同を求めましたが、自民党・公明党をはじめとする圧倒的な反対により否決される結果となりました。

国会では、森友・加計学園問題に加え、共謀罪強行採決や大臣や魔の2回生議員の失態など、本来論じなければならない議論がなされない状況であります。一強政治の暴走が戦争法も創りました。地方の声を国政

に！来るべく衆院選では正しい選択により、国民の手に政治を取り戻しましょう。

